

教育大運動 1747 推進ニュース

2023年10月25日

発行：教育大運動

1747 事務局

No.1

地域の力で、地域が望む教育、子育て環境実現を！ 教育大運動 1747、はじめます。

☆教育大運動 1747 とは？

学校現場を取り巻く状況は厳しさを増しています。子どもたちは、小中学生の登校拒否・不登校が約 29 万 9 千人で過去最多など、深刻な実態が明らかにされています。教職員は休職や退職が相次ぎ、労働環境の改善が進まないことから教職志望者も減り続けて、未配置の「教育に穴があく」状態が拡大し続けています。さらに諸物価高騰は、全ての家庭に重くのしかかり、子どもたちの成長発達の保障が懸念されます。



国や自治体の方策が進まない、功を奏さない中で、市民の力が自治体を動かした事例も多く報告されています。給食無償化は多くの市民の声を受け、8 月末時点で 491 の自治体で実現しています。学校統廃合を押し止めたり、私学の保護者や高校生の運動で「高校無償化」を拡充させたり、エアコンなどの施設設備の整備をさせたり、前進を勝ち取っています。

子どもたちにとって本当に必要なことを考えるにあたって、子どもたちに直接かかわっている保護者、教職員、地域の方々の声が最も重要です。そのために集まり、語り合い、学びあう、教育懇談会「子どもと教育を考え、語り合う会」を、全国 1747 市区町村で行い、地域から本当に必要な教育や子育て環境をつくり上げる…そうした教育大運動が、教育大運動 1747 です。



☆めざしたいこと

- ①地域の教育課題を明らかにし、**地域の要求を「見える化」**し、共有する。
- ②「こんな学校をつくろう」「こんな地域をつくろう」という**前向きな話し合い**を行う。
- ③**保護者や地域の声**を聴き、学校づくり・教育課程づくりに活かす。
- ④**自治体や議会への要請・懇談・陳情（請願）**などを行い、教育予算獲得につなげる。
- ⑤ゆきとどいた教育をすすめる会や教育・子育ての会など、全教・教組共闘連絡会の各組織と協力・共同の関係にある会や団体・個人に呼びかけ、**市区町村ごとに教育懇談会**を行う。

☆各市区町村レベルでやることは

保護者の身近な要求から始める「教育カフェ」や「子育てカフェ」など、**だれでも参加でき、子育ての悩みや相談事を持ち寄り、語り合える場をつくる**。学校教職員、保護者、子どもたちに関わる地域の方（学童保育職員、保育士、図書館司書、その他幅広く）の、**三者が揃っていれば成立！**



☆とりあげるテーマ（例）

いじめ、登校拒否・不登校、子どもの貧困、児童虐待、子育て、子どもの権利条約、GIGA スクール構想・教育 DX、校則、学習指導要領と教育課程、観点別学習状況の評価、全国学テ、教育に穴があく（教職員未配置）、教職員の長時間過密労働、学校統廃合、特別支援学校と他校種の一体化、インクルーシブ教育、教育条件整備（エアコンなど暑さ対策、安心安全な給食＋無償化、一人一台端末に関する件など）、学校が困っていること、日本語を母語としない子どもへの支援、業務支援員、SC・SSW 等専門職の配置、など

教育大運動 1747 推進ニュースでは、各地でのとりくみを紹介していきます。各地のとりくみ報告を送ってください。あれば写真も送付してください。

Mail: kyobun_kyozai@educas.jp